

スプリンクラーを核にした農業生産活動等の継続

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県西宇和郡伊方町 大江			
協定面積 44.3ha	田	畑 (100%)	草地	採草放牧地
	-	温州・中晩柑類	-	-
交付金額 377万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50%)	共同利用施設費		13 %
		水路・農道管理費		5 %
		多面的機能増進費		20 %
その他(鳥獣害防止対策、研修費等)		12 %		
協定参加者	農業者 46 人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

大江地区は、佐田岬半島のほぼ中央に位置し、柑橘専作の地域である。当地区では、県営かんがい排水事業(南予用水)により整備されたスプリンクラーを活用した共同防除・共同管理により、柑橘の生産性・収益性の向上を図るとともに、農地の保全に取り組んでいる。

また、近年、農業後継者の不足が懸念されているが、当地区においては、将来、定年退職後に就農し、接続的に営農を行っていこうとする人材がおり、それら次代を担う候補者を、就農形態如何に関わらず、農業後継者として位置づけて、集落ぐるみで育成していくこととしている。

3. 取組の内容

当地区では、農業生産活動を維持していくために、スプリンクラー施設を利用した共同防除の他に、農道の維持管理(草刈り・清掃)、周辺林地の下草刈り、高品質化のためのマルチ被覆栽培等に取り組んでいる。

また、近年、鳥獣(イノシシ等)による農作物被害防止のため、有害鳥獣連絡会による駆除や檻・電気柵・ネット等を設置している。



【総会の開催】

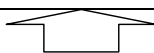


【スプリンクラーによる共同防除】

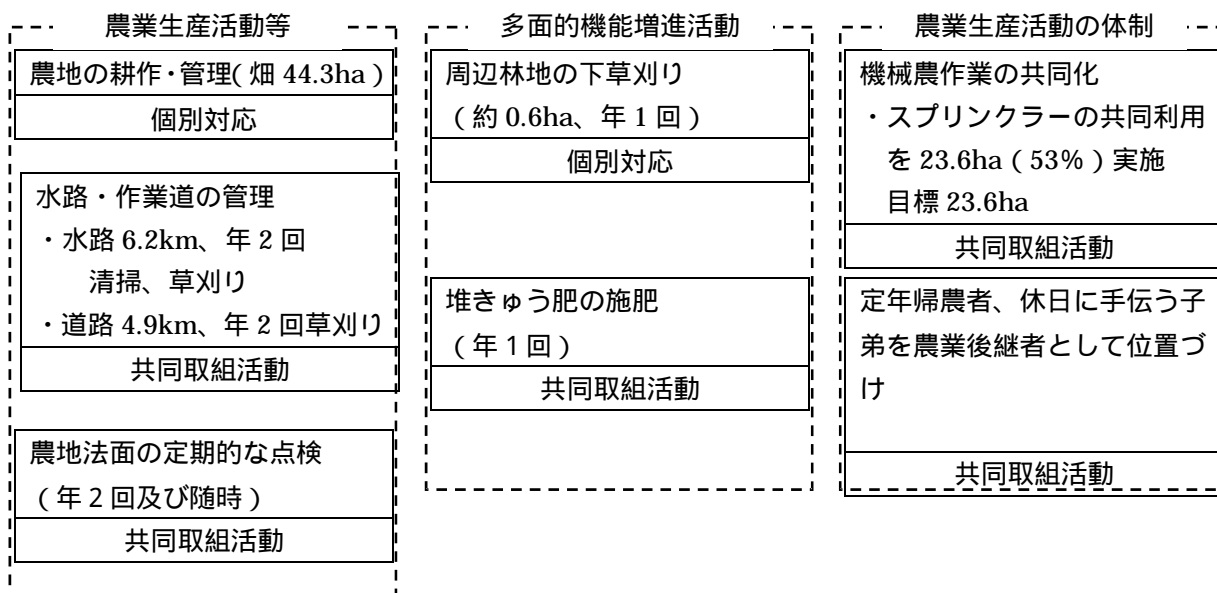
[集落の将来像]

農業後継者の不足が懸念される中、我が集落においては、将来、定年帰農し、継続的な営農を行っていかうとする人材がいる。それら次代を担う候補者を就農形態如何に関わらず、農業後継者として集落ぐるみで育成していく方策を図る。

また、集落農業経営の基幹作物である柑橘について、生産性・収益性の向上を図り、経営を安定させ、農用地の保全に取り組んでいくこととする。



[将来像を実現するための活動目標]



集落外との連携

有害鳥獣連絡協会との連携を図り、イノシシ等の捕獲等を行う。

4 . 今後の課題等

スプリンクラーの共同利用は、協定面積の 53%にあたる 23.6ha となっており、当初の目標を達成している。

今後は、スプリンクラーの共同利用を維持するとともに、計画的に地区内道を整備し、高齢者にも優しい集落づくりを目指す。また、世代間交流を積極的に行い、後継者や担い手の確保・育成に努めるとともに、集落内の農家数を維持・確保し、農業生産活動の継続・活性化を図る。

[第 2 期対策の主な成果]

退職者等の就農

(2名)

認定農業者の育成

(H17:9名、H21:13名)